教師用指導案「環境に配慮した東京 2020 大会競技会場」

〇対象： 中学生

〇本時のねらい： 大会における CO2 削減の取組について理解するとともに、一人ひとりができる CO2 削減・吸収活動への意識を高め、取組を促す。

〇準備物： インターネットに接続できるタブレットまたは PC、ワークシート

〇適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、理科　等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5 分)	1）本時の見通しを持つ 【発問】一般市民に参加を呼びかけている東京 2020 大会における CO2 削減・吸収活動について知っていますか？	本時は、CO2 削減の重要性や東京 2020 大会における CO2 削減の取組と自分たちとのかかわりについて学ぶことを理解させる。	
展開 (15 分)	2）東京 2020 大会における CO2 削減の取組について知る。 ・約 6 割が既存施設 ・自然採光や通風に配慮し、再生資材を活用して建設 ・省エネルギー性能の高い設備や機器の導入 ・再生可能エネルギーの電気を使用 いくつかの新規の競技会場についてインターネットで調べる。	東京 2020 大会における CO2 削減の取組は、世界的な課題である気候変動への対策として、また大会のレガシーとして重要であることを伝える。 新規の競技会場は、資材、設備・機器、構造など持続可能性に配慮した施設になること、再生可能エネルギーの利用が CO2 削減につながることを理解させる。	東京 2020 大会公式ウェブサイト「持続可能性に配慮した運営計画第二版」
(20 分)	3) CO2 削減・吸収活動について知る。1.夏季や冬季の一定期間、家庭の電気使用量が前年度の使用量を下回るよう努力する．2. LED 照明等の省エネ家電への買い替えを促進. 3. 公共交通機関の利用を促進	これらのうち、どの項目なら生徒が自分でできるかを考えさせる。あるいはそれ以外に自分でできることを考えさせる。（グループであるいは個人で） １ヶ月間実行させるよう促す。	東京 2020 大会公式ウェブサイト「東京 2020 大会における市民による CO2 削減・吸収活動について」
まとめ (10 分)	考えた内容を発表し共有する。脱炭素社会の実現に向けて、一人ひとりの参画が重要であることを確認する。		